

<週報No. 2, 931> 3, 042 回例会

2020年10月30日(金)

◆会長／岩波 寿亮 ◆幹事／小口 泰幸

◆司会＝古屋 了 SAA

◆ゲストビジター＝いらっしゃいません。

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー＝本日は実施致しません。

◆ニコニコボックス＝●岩波寿亮君、小口泰幸君＝本日は社会奉仕委員会担当のクラブフォーラムです。八幡委員長、宜しくお願いします。●河西正一君、伊藤武利君＝結婚記念日のお花、有難うございました。●八幡一成君＝本日は社会奉仕委員会担当例会です。宜しくお願いします。例会後の上諏訪中学校での図書贈呈式も、宜しくお願いします。●宮坂直孝君＝親睦委員会の皆様「ロータリー美食会」の企画、有難うございます。当日は酒の商品説明のため長男を伺わせます。何卒宜しくお願いします。尚、本日は早退させていただきます。●小島拓也君、平林正光君、野口洋介君＝11月8日(日)に「ロータリー美食会」を開催させていただきます。是非多数の皆様のご参加をお待ちしています。

◆会長告知・岩波寿亮会長＝先週「国土の長期的展望」の中間取り纏めが、国土交通省から発表されました。

「2050年を展望した国土の方向性と課題」というものです。自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の蔓延、SDGsの取組、世界中で進展するデジタル革命など、昨今我が国の国土を巡る状況には大きな変化が生じています。特にテレワークなど「密」を避ける新しい生活様式は、これまでの働き方や暮らし方を見直すきっかけとなり、国民のマインドに大きな変化をもたらしています。その様な状況下、本中間取り纏めは、人口構成をはじめとする2050年の国土を巡る長期的な推計を示すと共に、この一年間の検討を踏まえ「物」に留まらない「真の豊かさ」を目指す事を基本的な考え方として明確化しました。今後は、本中間取り纏めで整理されたデータや論点も踏まえつつ、東京への過度の人口集中を是正し、地方においても豊かな暮らしを実現できるようにしていくために、地方の生活圏域の在り方について、

更に検討を深めて、2021年初夏を目途に最終取り纏めの予定です。プレスリリースからの長い引用でしたが、図式化された中には「地域の核への集約を図りながら、地域内・地域外をネットワークで繋ぐ多様連携型の国土づくり」と書かれ、Society5.0の実現、テレワークや兼業・副業の働き方、二地域居住や関係人口の拡大、多様な人が活躍・交流できる社会と書かれています。私の業界に関連していえば「老朽化対策をはじめとするインフラの在り方」として、インフラ投資の選択と集中、中長期的視点に立った計画的な社会資本の維持管理・更新、DX等の技術的革新を取入れた予防保全の推進、インフラ空間の多面的・複合的利用、国・地方公共団体・民間の各主体による新たなストック効果を発現する取組、人口減少を見据えたインフラ管理・運用の在り方について国民の理解と協力の下に進めていく、といった事が論点となっています。私の言葉に言い換えますと、各地方公共団体は、公共インフラの面積を集約により減らし、公道や上下水道等の延長距離を減らす、つまりコンパクトシティ化しないと今後増大する維持管理費が賄えないという事です。私の業界も、今後は維持管理工事が中心になっていきます。会社を、如何に市場の変化、つまりお客さまの求める商品・サービスに対応させていくか、という事になります。収益の額よりも質の問題にもなると思います。この事は全ての業界に共通の事ではないでしょうか。さて、諏訪湖八ヶ岳のトライアスロンに絡み、今週、諏訪湖の水と八ヶ岳のホップで作ったビールを飲みました。幾つかのコラボの中、環境問題また地域の商品開発の成果の一つです。時間との闘いの中ですが少しずつ進行中です。本日の教育機器・図書贈呈式での「諏訪湖に学ぶ」の発刊も、広い意味でコラボしています。今後共ご協力をお願い致します。

◆幹事報告・小口泰幸幹事＝①新入会員候補の中部電力パワーグリッド(株)諏訪営業所長串原弘樹さんには、異議申立がございませんでしたので、入会手続きを進めます。次回11月6日の例会より新入会員として参加して頂きます。②本日は、社会奉仕委員会担当のクラブフォーラムです。八幡委員長、宜しくお願いします。③来週11月6日は、ロータリー財団委員会担当のクラブフォーラムです。竹上委員長、宜しくお願いします。④本日この後、図書贈呈式が上諏訪中学校14時15分集合で行われます。参加される方は、お弁当をこの会場で召し上がってから移動して下さい。

◆クラブフォーラム 社会奉仕委員会 八幡一成委員長

＝今年度の社会奉仕委員会の活動を報告させていただきます。社会奉仕活動はロータリーの五大奉仕活動のうち三



番目の奉仕活動として定義されています。ロータリー活動の解説本を読みますと「クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行う様々な取組からなるもの」と説明されております。この様な内容に沿って本年度の計画書に二項目あげておきました。一つは「やわらぎ像の清掃を機に諏訪湖の現在の浄化問題、環境問題を考える」二番目は「諏訪の子供たちの教育を支援する奉仕活動」です。毎年、ロータリー財団の地区補助金を使い、諏訪市内の小中学校へ寄贈を行っていますが、今年は「諏訪湖に学ぶ」という本を諏訪市内の4中学校へ500冊寄付する事に致しました。それともう一つ、デジタルカメラ7台を諏訪市内の7小学校へ1台ずつ寄贈する事に致しました。贈呈式は本日の例会終了後、14時40分より上諏訪中学校にて行います。贈呈式の後には、沖野外輝夫先生による講話がありますので、皆さんにお聞き頂ければと思います。「諏訪湖に学ぶ」という書籍ですが、これは「諏訪湖クラブ」という市民団体が編集発行した、諏訪湖の成り立ちや実態を知り諏訪湖を理解するための中学生向けの資料という事で発行されています。諏訪湖クラブという市民団体は、諏訪湖周辺の環境自然エネルギーに関わる問題に取組みながら、諏訪湖と周辺の暮らしを考える市民グループです。沖野先生はこの会長を務め「諏訪湖に学ぶ」の執筆者のお一人でもあり、信州大学の名誉教授でもいらっしゃいます。もう一つの活動であります「やわらぎの像の清掃を機に諏訪湖の現在の浄化問題を考える」についてですが、やわらぎ像の清掃活動は10月27日に実施致しました。それ程汚れていないと思ったのですが、隙間などに蜘蛛の巣が張ってしまっていて、毎年実施した方が良く感じました。それと立像後、長年経過している事もあって所々変色もしていて、これも気を付けたら良いと気付きました。図書贈呈式ですが上諏訪中学校の校長室へ集合ください。図書の発行経緯につきまして、岩波会長から補足の説明を頂きます。

●図書発行に関する補足説明 岩波寿亮会長＝私が会長になる前の最初の仕事として、翌年度のロータリー財団

の補助金申請がありますが、その段階で、諏訪湖クラブの沖野先生から「本を出版したいが県に予算が無いので何とかならないか」という相談がありました。その時はB5版の小学生向けの本を作ろうと考えてロータリー財団に申請しました。ところが県が諏訪湖創生ビジョンの予算が余ったという事で、3月に小学生向けを出版してしまい、県振興局が校長会経由で諏訪の小学校に配ってしまい、その事を教育委員会も知りませんでした。という事で、小学生向けを作る訳にはいかなくなり、中学生版としてロータリークラブで出さないかという話になりました。その結果、当初の予算案が狂ってしまって、予算不足で困っていたところ、諏訪湖ロータリークラブから、これを活用したいというお話を頂き、印刷代を二つのクラブで折半しようという事になりました。それでも予算不足でしたが、今年はコロナで例会の予算が余っているとの事で、理事会で承認頂き刊行する事になりました。10月1日の諏訪湖の日に刊行出来たので、その日に何処かの中学校で贈呈式を行いたいと考えたのですが、教育委員会や学校との調整で本日贈呈式を開催する事となりました。この本を、諏訪湖クラブでも販売したいという話や、諏訪湖ロータリークラブでは、来年の地区大会のお土産等に活用したいという話も出て来ており、ちょっと大きな話になって来ています。

◆上諏訪中学校での寄贈式の模様



◆今後の例会日程

◆今後の例会日程



◆今後の例会日程		
11月 6日	金	クラブフォーラム (財団委員会)
11月 8日	日	家族例会 (美食会) (親善委員会)
11月 20日	金	クラブフォーラム (会員卓話)